広報かじき
No.338
昭和57年
12月号
発行 加治木町
編集 総務課

師走の街を行く人たち

師　走（しわす）

街は人の波、道路は車の〝洪水〟――。　街全体が何となくあわただしくなるのが１２月です。そのあわただしさのなかで、ややもすると、わたしたちは〝心のゆとり〟を見失いがちです。年末・年始の交通事故を防止するため「ゆとりと思いやりの心」をもって安全運転を心がけましょう。
また、１日から歳末たすけあい運動が始まりました。　みんなで明るいお正月が迎えられるよう、ご協力をお願いします。

◈人口22,779(＋41)　男10,733(＋18)　女12,046(＋23)　世帯数 7,607(＋20)　57.11.1現在(　)前月比

東國雄氏が当選

町長選挙

二期連続無投票

任期満了に伴う町長選挙は、十一月二十二日午後五時で立候補の届け出を締め切った。

その結果、現職の東國雄氏(六四)以外に立候補者はなく、前回五十三年の町長選挙に引き続き、無投票当選となりました。

これをうけて、十一月二十九日町選挙会が開かれ、正式に当選を決定。東國雄氏に当選証書を授与しました。

これまでの実績をふまえて、今後の活躍が期待されます。

東町長の経歴

県立伊佐農林学校卒。加治木町農業協同組合農務課長、町農務課長を経て、農業委員、町議二期。

昭和三十六年五月から町助役を四期つとめたのち、昭和四十九年十二月、初当選以来三期目。

仮屋町三一八

就任のごあいさつ

東　國　雄

私は、誠実、清潔、公平無私を政治信条として、これまで、住みよい町づくりと町民福祉の向上をめざして、町政を担当して参りました。

おかげをもって任期を終ることができましたことは、町民の皆様の御協力と御支援のたまものであります。ここに深く感謝の意を表したいと思います。ありがとうございました。

さて、私は都市計画街路、生活道路の整備等、住まいの環境づくりをはじめ、産業経済の振興、学校、社会教育の充実等に最善の努力をいたしましたが、今日の国内外の厳しい経済情勢の下におきましては、どうしても事業の推進がたち遅れ、仕事が山積みしています。

私は過去八年間の貴重な経験を生して、さらに町政を推進することを決意し、再び町長選挙に立候補いたしました。その結果、無投票当選によって、去る十二月十日第十八代の町長に就任させていただきました。この感激を肝に銘じ町政発展のため、全力を尽す決意でございます。

私は三期目を迎えるにあたり、総合振興計画が指標する「市民生活が躍動する文化的な居住都市」の建設をめざして、厳しい社会経済情勢や流動化する時代の変化に適切に対応しながら、特に次の施策を重点的に実施します。

①町民生活をささえる農林漁業、商工業を振興し、活力のあるまちづくりをすすめる。

②安全で快適な生活を確保するため、生活環境の整備をすすめる。特に公共下水道の建設を促進する

③豊かな人間形成と文化性に富むまちづくりをめざして、教育文化の振興をはかる。

④すべての町民が生涯を通じて健康で生きがいのある生活が営めるまちづくりをすすめる。

⑤広域圏の協調・協力によって経済社会の発展をはかるため広域行政を積極的にすすめる。

これらの施策の推進にあたっては今後も、国内外の厳しい情勢が予想されますが、私は町民の皆様の町勢発展を願うお気持を大切にしながら、加治木町百年の大計を誤らないよう、明日の加治木町建設に向って、全力を尽くすことが、私の三期目の責務であると考えます。

町民の皆様のなお一層の御支援と御協力をたまわりますようお願いして、就任のごあいさつといたします。

◆相続や贈与と税金

財産を相続したり、個人から財産をもらった場合には税金がかかります。

亡くなった人の財産を相続や遺贈(遺言によって財産を譲ること。)によってもらった人にかかる税金が相続税で、個人から財産をもらったときにかかる税金が贈与税です。

相続税は、相続や遺贈によってもらった正味の遺産額が、基礎控除額を超える場合にその超える額に対して課税されます。つまり、正味の遺産額が基礎控除額の範囲内であれば、相続税はかかりません。

基礎控除額は、二千万円と四百万円に法定相続人の数を掛けた金額との合計額です。例えば、法定相続人が妻と子三人の合計四人のときは、基礎控除額は、二千万円＋(四百万円×四)＝三千六百万円となりますので、正味の遺産額が三千六百万円までであれば、相続税はかかりません。

また、相続税の補完税であるといわれている贈与税は、一年間(一月一日～十二月三十一日)に、もらった財産の合計額が、六十万円を超えるときにかかります。

相続税や贈与税のことでおわかりにならない点がありましたら、お気軽に最寄りの税務署又は税務相談室にお尋ねください。

〔昭和57年度〕上半期の財政事情

一般会計

十一月に、昭和五十七年度の上半期における財政事情が公表されました。

町の財政（台所）がどのようにして、まかなわれているか、どのような事業で、その事業のためにどれだけの町債（借金）があるかなどについて中間の報告をするものです。

本紙ではその主なものを要約して掲載しました。詳しく知りたい方は役場に資料がございます。

上半期に四回補正

昭和五十七年度の当初予算額は歳入歳出それぞれ三十八億五千四百万円でありましたが、四月から九月までの上半期に四回、予算の補正を行いました。

このため予算額は四十一億二千七十八万二千円となっています。

上半期における収入と支出の状況は、次のとおりです。

収入済み額

十八億一千七百七十三万円（収入率四四・一パーセント）

支出済み額

十三億八千九百二万八千円（支出率三一・二パーセント）

歳入

町独自でまかなえる財源は四三・六パーセント

歳入予算のうち、町独自でまかなえる自主財源は、十七億九千五百六十四万五千円で残りの二十三億二千五百十三万七千円は、国や県に依存する財源です。

したがって本町の財政（台所）は自主財源四三・六パーセント、依存財源五六・四パーセントでまかなわれていることになります。（図表1）

税負担一世帯当り年間十五万五千四百二十八円

町民の税負担の状況は、町予算の二八パーセントをまかなっています。

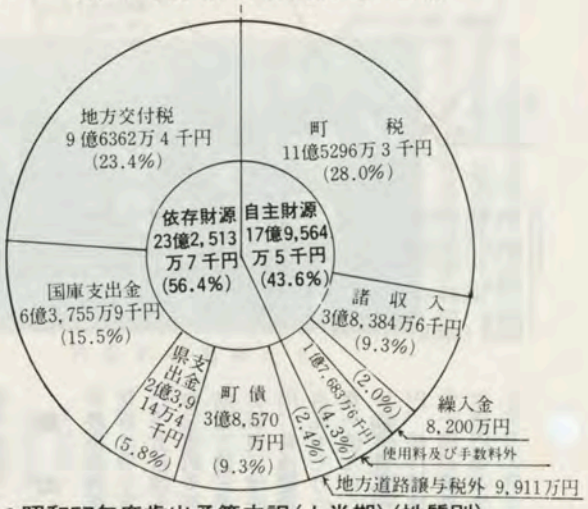
年間の町税の額は十一億五千二百九十六万三千円です。これを町民ひとりあたり、一世帯あたりに計算しますと、税負担は次のようになります。

一世帯当り十五万五千四百二十八円

一人当り　五万二千五十七円

依存財源の主なものは、地方交付税九億六千三百六十二万四千円（二三・四パーセント）国庫支出金六億三千七百五十五万九千円（一五・五パーセント）町債三億八千五百七十万円（九・三パーセント）県支出金二億三千九百十四万四千円（五・八パーセント）であります。

図表1　昭和57年度歳入予算内訳（上半期）



歳出

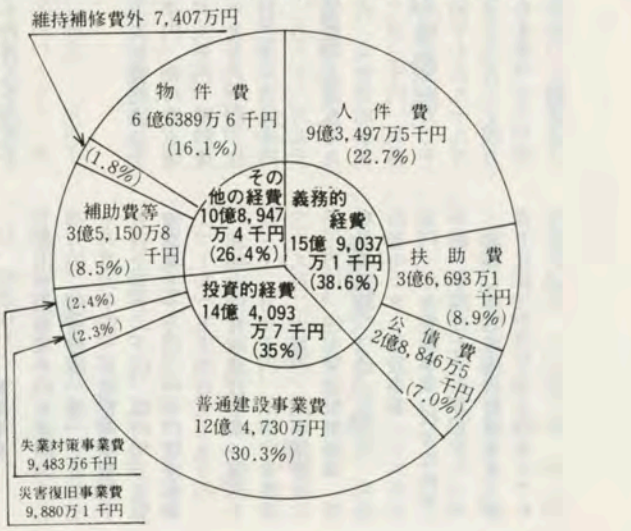
普通建設事業に三〇・三パーセント

歳出について、性質別に大別すると人件費九億三千四百九十七万五千円（二二・七パーセント）扶助費三億六千六百九十三万一千円（八・九パーセント）公債費二億八千八百四十六万五千円（七・〇パーセント）普通建設事業費十二億四千七百三十万円（三〇・三パーセント）失業対策事業費九千四百八十三万六千円（一・二パーセント）災害復旧事業費九千八百八十万一千円（二・四パーセント）物件費六億六千三百八十九万六千円（一六・一パーセント）補助費等三億五千百五十万八千円（八・五パーセント）等であります。（図表2）

普通建設事業の内訳は

給食センター建設事業一億九千九百十九万四千円、武道館建設五千七百四十二万円、臨時地方道整備事業一億四十万円、臨時河川等整備事業三千五百万円、都市計画事業二億九千四百万円、道路整備事業八千五十万円、公園整備事業二千八百万円、入会林野等高度利用促進特別対策事業四千五百九万二千円、庁舎渡り廊下、駐車場舗装工事等五千百万円、温泉泉源掘削工事等三千五百四十九万九千円、農林基盤総合整備事業四千百八十万円、小規模土地改良事業千百万円等であります。

図表2 昭和57年度歳出予算内訳（上半期）（性質別）



町の借金二十三億二百三十万五千円

町がいろいろな事業をすすめるために、国などから借りている町債は、昭和五十六年度末現在で二十三億二百三十万五千円ですが、今年度中に借入れる予定額は三億八千五百七十万円、返還する額は一億一千九百八万七千円であります。これを差引きますと、本年度末の現在高は二十五億六千八百九十一万八千円となる見込みです。

なお本年度、借入れ予定の町債の内訳は次のとおりです。

臨時地方道整備事業一億四十万円、町道整備事業二千百九十万円、臨時河川等整備事業三千五百万円、公園整備事業千八百万円、街路整備事業三千五百九十万円、給食センター建設事業一億二千百万円、公共土木施設災害復旧事業一千七百八十万円。

昭和56年度 決算の概要

一般会計

昭和五十六年度の決算は、さきの定例町議会で認定されました。

今回の財政事情の公表により、概要についてお知らせします。

昭和五十六年度の決算額は、歳入四十三億二千三百七十八万六千円、歳出四十二億八千十四万四千円で、差引額四千三百六十四万二千円でありますが、翌年度へ繰越すべき財源二百五十三万円を差引いた実質収支は四千百十一万二千円となります。そのうち、二千百万円を財政調整基金として積立、その残額二千十一万二千円が翌年度財源として繰越されました。

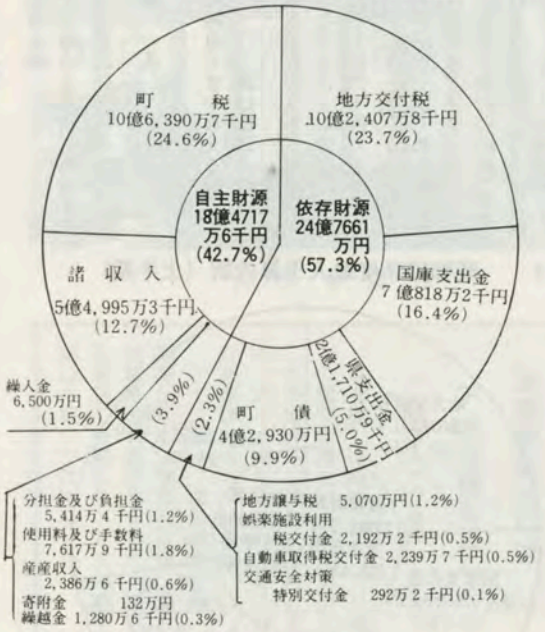
歳入

歳入の内訳は、自主財源（町独自の財源）十八億四千七百十七万六千円（四二・七パーセント）依存財源（国や県からはいる財源）二十四億七千六百六十一万円（五七・三パーセント）となっています。

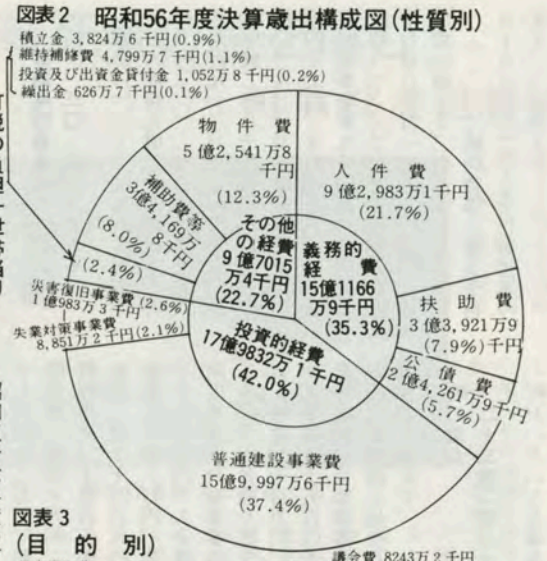
自主財源の主なものは、町税十億六千三百九十万七千円、諸収入五億四千九百九十五万三千円、使用料及び手数料七千六百十七万九千円、繰入金六千五百万円、分担金及び負担金五千四百十四万四千円、財産収入二千三百八十六万六千円、繰越金千二百八十万六千円などであります。

また、依存財源の主なものは、地方交付税十億二千四百七万八千円、国庫支出金七億八百十八万二千円、町債四億二千九百三十万円、県支出金二億一千七百十万九千円であります。（図表1）

図表1　昭和56年度決算歳入構成図



図表2　昭和56年度決算歳出構成図（性質別）



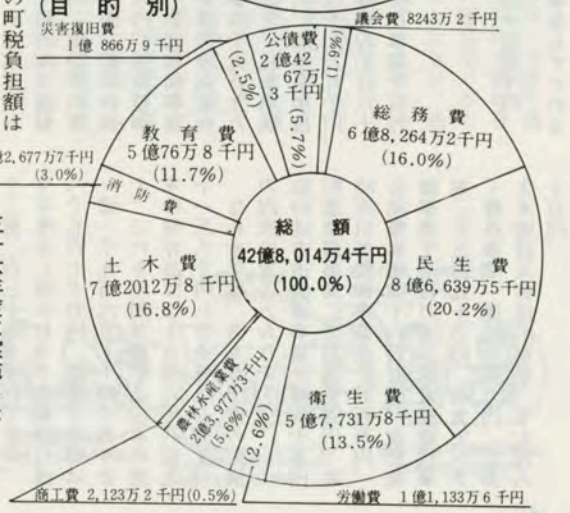
町税の負担一世帯当り十四万六千百二十一円

昭和五十六年度の町税負担額は一世帯当り十四万六千百二十一円一人当り四万八千六百九十四円となります。

歳出

歳出の内訳は、人件費九億二千九百八十三万一千円、物件費五億二千五百四十一万八千円、補助費等三億四千百六十九万八千円、扶助費三億三千九百二十一万九千円、公債費二億四千二百六十一万九千円、普通建設事業費十五億九千九百九十七万六千円、災害復旧事業費一億九百八十三万三千円、失業対策事業費八千八百五十一万二千円、維持補修費四千七百九十九万七千円、積立金三千八百二十四万六千円などであります。（図表2）

図表3
（目的別）



五十六年度に実施した建設事業

都市計画事業木田本通線四千二百万円、町道整備一億一千五百七十八万六千円、公園整備事業五千五百十五万八千円、臨時地方道整備事業五千万円、中学校建設事業（プール）五千四百七十五万円。

加治木保育所建設事業一億四千百三十一万九千円、消防庁舎建設三千八百二十万円、議事堂建設六千三万円、住宅関連整備事業（仮屋馬場通線）二億一千万円、生活改善センター建設事業一千六百七万円、庁舎整備事業（校舎改装等）一億一千四百七十六万九千円。

地域し尿処理施設整備事業三億六千三百二十三万八千円などであります。

特選児 久保田成美ちゃん

（昭和57年1月14日生）

久保田成美ちゃん

第二十六回鹿児島県秋の乳児いっせい健康審査（赤ちゃんコンクール）で春日団地の久保田繁光さんの長女成美ちゃん（生後十ケ月）が特選児に選ばれ「県婦人会連絡協議会長賞」を受賞しました。

成美ちゃんは生れたときの体重が三千六百五十グラム。母乳でぐんぐん大きくなり、四カ月目ごろから離乳食を始め、好き嫌いはほとんどない。

仲よしのお兄ちゃんと遊んだりお母さんとショッピングに出かけるのが大好き。

「女の子ですから、心やさしくすこやかに育てたい」と喜びのご両親。

なお、優良児に増田光亮ちゃん（喜男岩原西）、川原孝祐ちゃん（秀行西江口団地）古賀綾益ちゃん（哲郎岩原西）が入賞しました。おめでとう。

（ ）内は保護者と住所

南日本花だんコンクール 特選 錦江小 永原小

花いっぱい運動を推進しているサンライフ運動推進協議会は、花いっぱい運動を通じて美しい郷土づくりを地域社会や学校ぐるみで実践する目的で、花だんコンクールを毎年行っています。

今年で十四回目、学校二十八校一般三十四団体が応募。

学校の部では昨年に引き続き二年連続、錦江小学校（南一雄校長児童数七百五十五人）と永原小学校（西村義則校長、児童数九十一人）が、特選となり、十一月十九日教育長室で表彰状が贈られました。

おめでとうございます。

錦江小、永原小に表彰状を伝達

県傷痍軍人大会で表彰 玉利一男さん（蒲生田二）

玉利一男さん

第三十回県傷痍軍人大会は十一月十五日鹿児島市の中央公民館で開催され、会員約千人が参加、恒久平和に寄与することなどを決議しました。席上、多年にわたり会員の指導、会勢発展のため献身的に努力された蒲生田二の玉利一男さん（71）が表彰されました。

おめでとうございます。

"伸びよ" 錦江小学校 創立百周年を祝う

錦江小学校（南一雄校長児童数七百五十五人）は十一月二十日創立百周年を祝いました。

記念式典に先立ち、記念児童集会が行われ、全児童に紅白まんじゅうと記念品として定規をくばりました。

十時三十分から記念碑と亡師亡友の碑の除幕式が行われ、教職員や、多くの関係者が出席。児童代表がひもを引くと、どっしりした風格の記念碑が姿を現わしました。

続いて、十七代校長のおくさん松永愛子さんらがひもを引いて亡師亡友の碑を除幕。

記念碑には「伸びよ」の三文字が刻まれている。

実行委員長の岡山秀樹さんは「なにをどう伸ばすか考えてもらいたい。大木のように今の子供たちを大きく育てるには、基礎となる根が大切です」とあいさつの中で述べました。

その後、記念式典、祝賀会が催され、終日にぎわいました。

錦江小学校は明治十五年小鳥小学校として設立、大正六年錦江尋常小学校、昭和二十二年錦江小学校と改称し現在に至っています。

卒業生七千七百七十人。

錦江小学校百周年記念碑除幕式

青年団バレーボール 堂々と三位に 全国青年大会

第三十一回全国青年大会は十一月五日から八日までの三日間、東京で開催されました。

本町から鹿児島県を代表して、青年団（逢原安文会長）男子が代々木国立競技場で行われたバレーボール大会に出場。

一回戦福島、二回戦徳島、三回戦福井、四回戦群馬のチームをいずれも二対〇に下し、準決勝では東京のチームと対戦、接戦の末二対〇で惜しくも敗れ、三位となりました。

多くの方々の応援を受けて、特訓につぐ特訓を重ね堂々と全国大会で第三位を達成。

この快挙で青年団活動に弾みがつき、過疎化が進む西別府地区をもっと大きくリードしてくれるのではないかと期待する声が高まっています。「皆様の温かいご支援をいただきこのような成績を修めることができました。心からお礼申し上げます。これからも地域づくりのためみんなでがんばろうと決意をあらたにしています」と選手たちは力強く喜びを語っています。

ご活躍おめでとう。

さらにいっそうの精進を期待します。

全国青年大会（バレーボール）に出場した選手たち

新記録にいどむ

小学校陸上記録会

町陸上記録会は十月二十七日、町営運動場で行われ各小学校の五、六年生が参加、百メートル走など八種目の競技に挑みました。

一位の記録は次のとおり。

百メートル走

五男　楠元淳一郎（錦）14秒4 (新)
五女　長谷　晴美（柁）15秒6
六男　田中　茂一（柁）14秒2
六女　新　智美（永）14秒8

記録にいどむ元気な児童たち

女子四百メートル走

五年　加藤瑞恵（柁）1分13秒8 (新)
六年　石川亜由美（柁）1分11秒9

男子千メートル走

五年　小松　誠（柁）3分32秒4
六年　鮫島　孝治（柁）3分23秒5

六十メートルハードル

六男　久留　賢次（柁）10秒2
六女　八汐　博子（柁）10秒6 (新)

走り幅とび

五男　中野　朋秋（永）4m12
五女　長谷　晴美（柁）3m81
六男　大脇　直久（柁）3m95
六女　新　智美（永）3m87

走り高とび

五男　安藤　定俊（柁）1m15
五女　日高　直美（竜）1m18
六男　久留　賢次（柁）1m23
六男　田中　大輔（錦）1m23
六女　八汐　博子（柁）1m30

ソフトボール投げ

五男　松ケ野博志（柁）46m77
五女　加藤　瑞恵（柁）32m25
六男　白尾　彰秀（柁）52m72
六女　山口　智子（錦）40m84

四百メートルリレー

五男　楠元淳一郎　上村　和範　松井　新　松井　剛（錦）1分0秒8
五女　加藤　瑞恵　長谷　晴美　四元　美紀　岡元　孝子（柁）1分2秒9
六男　出村　文男　渡部　博之　久留　賢次　田中　茂一（柁）58秒9
六女　小野田淳子　小川　瑞穂　林　紀子　川崎　陽子（錦）1分1秒8

心配ごと相談

毎週木曜日午前中、福祉センターで応じています。お気軽にどうぞ。

町制施行70周年記念

スポーツ大会

町制施行七十周年記念行事としてのスポ!ツ大会は、十月十日の町民体育祭に引き続き、義弘公奉賛武道大会、地区対抗駅伝大会、ゲートボール大会が行われ、大きな盛り上がりをみせました。

義弘公奉賛 武道大会

町内外から 百八十三チーム

第十五回義弘公奉賛武道大会として開催された弓道大会は十月二十四日精予神社境内で行われ、町内外の中学生から一般まで、六十チームが参加。

また、十一月二十三日加中体育館で行われた剣道大会には町内外から百二十三チームが参加して、熱戦を展開しました。

弓道

中学男子①加治木C②加治木中A③蒲生中A

中学女子①加治木中A②帖佐中

高校男子①鹿児島商業高②加治木工高③加治木工高D

高校女子①加治木高A②国分実業高A

一般①加治木町役場②錬心館③日吉町

剣道

小学生の部①富隈剣ス少A②加治木剣ス少B③加治木剣スA、湯之尾剣ス少A

中学生の部①吉野中A②帖佐中A③高道館B、城南剣A

高校の部①鹿児島商高B②加治木工高B③鹿児島商高C、蒲生高A

一般の部①土曜会②南興会③桔梗会、鹿経大剣親会

義弘公ゆかりの地での競射

力走する選手たち

少年剣士の熱戦

城北地区が優勝

地区対抗駅伝大会

第十一回地区対抗駅伝大会は十一月十四日加治木女子高前提防、二十一、五キロのコースで行われ、健脚を競いました。

㊙城北地区②城東地区③錦江二地区

区間賞

一区岡田謙一郎（城北）二区森千穂子（城東）三区原口ミドリ（城東）四区今村滋（城東）五区有馬正治（城北）六区徳久謙一郎（城北）七区中村伸一郎（城東）八区原口正則（城北）九区下小牧美保（錦江二）十区鮫島幸二（城北）

みごとなスティックさばき、第一ゲート通過

愛宕チームが優勝

ゲートボール大会

ゲートボール大会は十一月二十一日、役場グランドで行われ、二十六チームが参加、熱戦を展開しました。成績は次のとおり。

優勝　愛宕　チーム

二位　隈姫Bチーム

三位　塩入　チーム

ロードレース大会

十一月七日町営グランドから加治木女子高前提防のコースで行われたロードレース大会の成績は次のとおり。

中学男子四千メートル

①池上一郎　14分26秒

②有村久雄　14分28秒

③川添誠一　14分32秒

一般男子六千メートル

①中川正孝　20分8秒

②小原争時　21分41秒

③城村勝美　24分50秒

〔町制施行70周年記念行事〕

多彩な芸能と作品展

第十六回加治木町文化祭

町制施行七十周年記念行事第十六回加治木町文化祭は、十一月二日、三日の二日間、福祉センターで開催。展示会の部と茶会の部が設けられ、二階ホールでは、昼夜二回にわたって、芸能発表会がありました。

展示会場には写友クラブの写真をはじめ、短歌、俳句、書芸、盆栽、編物、生花、洋画、日本画など約二百点を展示。

茶会では茶道同好会の娘さんたちのサービスで、ちょっぴり茶道をたしなむ人の姿が見られました。

また、芸能発表会では日本舞踊詩吟などを披露し、観衆を喜ばせました。

晴れの舞台で芸能発表

力作を展示

戦死者の霊を悼む

町戦没者追悼式

町戦没者追悼式は十一月十七日福祉センターに遺族など約三百人が出席して、しめやかにとり行われました。

東町長の式辞に続き、下猶町議会議長、稲恒遺族会長らが戦死者の霊をなぐさめるとともに、遺族のかたがたを激励しました。

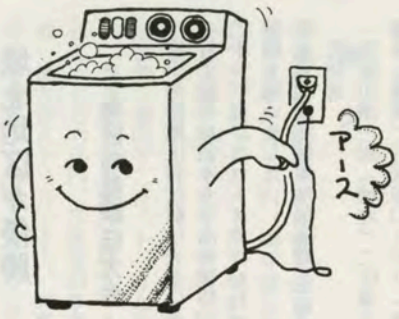
戦後三十七年幾多の苦難をのり越えてきた遺族たちは、ありし日の夫や息子を思い浮べながら、菊の花で飾られた祭壇に一人ひとり花を供えました。

菊の花を供える遺族たち

洗濯機などにはアース線を正しく取りつけましょう

洗濯機、冷蔵庫、エアコンなどの電気機器を、水気のあるところや屋外でご使用にはるときは、アース線を取りつけることが義務づけられています。

アース線は、電気機器が万一漏電しても、電気が大地に流れ感電事故を防ぎますので、電気工事店に依頼して、アース線を正しく取りつけましょう。



(財)九州電気保安協会

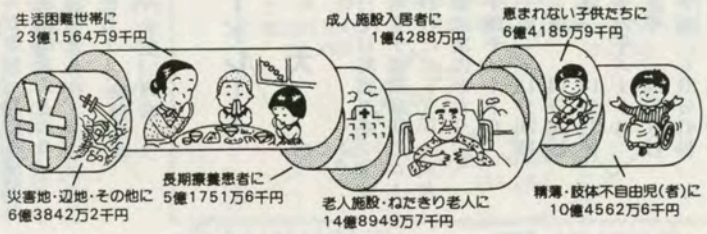
歳末たすけあい運動

みんなそろって明るいお正月を

「歳末たすけあい運動」によって集められた善意の寄付金は、地域の恵まれない人々や社会福祉施設を利用されている方々が、明るく楽しいお正月を迎えられるよう、社会福祉協議会等を通じて、正月支度金、越年資金などとして有効に活用されています。

昨年集まった善意の寄付金は、グラフのように使われました。

今年もご協力を……。



町制施行70周年記念 第24回町美術展

町長賞に 柁小 太田有紀さん 加中 川嵜史子さん

図工、習字など716点を展示

町制施行七十周年記念第二十四回町美術展は、十一月十二日から十四日までの三日間、福祉センターで開催され、町内の小中学校の児童、生徒の作品を中心に習字、図工など七一六点を展示、観覧者を喜ばせました。

児童、生徒の入賞者は初日の十二日会場内で表彰されました。

「どの学校の作品も努力の成果がみられます。奨励賞、特別賞の作品はいずれも県下のトップレベルにあると言っていいでしょう。ますます頑張ってください」と審査評がありました。

特別賞、奨励賞の入賞者は次のとおりです。

▽**特別賞**

町長賞
毛筆　太田　有紀　（柁小三）
絵画　川嵜　史子　（加中三）

議長賞
毛筆　早崎さおり　（柁小六）
絵画　山元　拓郎　（竜小一）

教育委員会賞
毛筆　渋谷　友美　（加中二）
デザイン　東佐知子　（永小三）

南日本新聞社賞
硬筆　後藤　由香　（柁小二）
絵画　下原さや子　（柁小六）

商工会長賞
毛筆　渋谷真理子　（柁小四）
工作　池田　貴史、大野さおり　内田　充紀　（錦小二）

農協長賞
毛筆　川原佐知子　（柁小五）
デザイン　織田ゆかり（加中二）

南日本書道会賞
毛筆　猪俣　尚子　（加中三）
毛筆　重留　昌実　（加中一）
硬筆　吉川　弘太　（柁小一）

▽**奨励賞**
硬筆　地福智博（柁小一）山下健一（同）福永倫子（同）福留亮治（柁小二）水口敏博（同）桑幡裕子（同）渋谷克久（同）宇都恵子（錦小一）上別府さおり（竜小二）
毛筆　信裕一郎（柁小三）猪方直樹（同）福永桃子（同）黒岩利香（同）甲斐亜紀（柁小四）白浜渉（同）古川佳代子（同）葛西章子（同）森下智佳子（柁小五）外村祐典（同）松崎朝子（同）常盤葉子（柁小六）老岐洋久（同）高橋亜依（同）葛西アリサ（同）田中ともみ（錦小四）小宮路あゆみ（永小五）楠元晃任（加治木養護学校小六）柳川由美（加中一）常盤孝子（同）藤崎香（同）泊口紀世子（同）白濱諭（加中二）黒木昭子（同）藤崎恵子（同）内村栄理美（同）大角千代（加中三）加藤直子（同）郡山友見（同）
絵画　かわいだおさむ（柁小一）畠中克秋（柁小二）常盤晃一（柁小四）白尾純一郎（錦小一）佐藤小雅香（錦小二）池畑知子（錦小三）早崎晋一（錦小五）岡山真子（錦小六）福本知子（竜小六）日高望美（永小二）外村瑞穂（永小三）森木博和（永小六）安山徹（加治木養護学校小一）野呂明（加治木養護学校小三）森一仁（加治木養護学校中三）徳永尚（加中一）宝蔵郁代（加中二）鮫島一郎（加中三）
デザイン　田中睦美（竜小五）富宿政子（竜小六）小宮路秋代（永小五）坂元美紀（永小四）鬼塚千代美（加中一）町田和之（加中二）馬場めぐみ（同）岩城茂治（加中三）
工作　むらはしあずさ　おい山くみ子（柁小一）大迫裕子（柁小五）川野邦祐、山下葉子、北薗稔（錦小一）坂口哲也（錦小四）芝原雄一前田浩二、東川内朋亮（竜小一）山口秀二（竜小六）榎谷洋一（永小三）斉藤克哉（加中一）坂元利彦（同）

全国書道 検定に合格

去る九月二十日、日本教育書道連盟主催の検定試験に次の方々が合格しました。

漢字科（一般、高校、大学の部）
八段　梅木　テル
七段　野間　出美
二段　上野　光　向江　豊志
前山トシ子　大宮路照子
古江　陽子

教育部（小、中学生）
二段　桃木野美晴　今村　陽一
初段　満尾真由美　川上　了子
蓬原まなみ
一級　松林　伸一　満尾めぐみ
池畑　知己
二級　中村　一博　伊達ゆかり
川原　慶子　米沢　真樹
権現免マリモ　日高律子
三級以下省略

竜門の会

篝火やひしめき出づる夜の紅葉　能勢真砂子
櫨紅葉浮かせて急ぐ渓の水　井之上透山
潮の香をまとひて霧の天使百合　鶴田　耕
麻痺にして師範の腕の菊活ける　川崎　黒兎
ボートみな裏を返して冬眠す　横山　江南
スケッチの火の島透かす尾花かな　田代　俊泉
湯豆腐や些事にこだわる妻の愚痴　恒吉　斗南
白菊のひときは映えし月の庭　古江　重美
大公孫樹削ぎ落したる時雨かな　高木　正男
雑木山小鳥集ふやあけびの実　宮脇　思川
甘藷掘るも運ぶも一人暮早し　加藤　白柳
峠径眼下に展く里の秋　上野　光

一月十五日町成人式
できるだけ平服で参加しましょう

お知らせ

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽にご相談ください。

秘密は固く守られます。

港町一三一番地一二一宮城　俊治
（電話三―三七八七）

仮屋町六四番地　田中　重男
（電話二―二二六〇）

反土二七五六番地　中摩多美子
（電話二―二七六八）

公給領収証を必ず受け取りましょう
1月から免税点が変わります

皆さんが料理店、バー、飲食店、旅館等で飲食、宿泊等をされた場合、料金といっしょに税金（料理飲食等消費税）を納めていただくことになっており、料理店等の経営者は、料金と税金を受け取ったしるしとして公給領収証を皆さんにお渡しすることになっています。

この領収証は、飲食宿泊等の料金や税金の内訳を明らかにしたもので、公給領収証を受け取っていただくことによって税金が確実に県に申告納入されるしくみになっておりますので、皆さんが料理店等を利用された場合は、必ず公給領収証をお受け取りください。

なお、料理飲食等消費税の税率は、利用料金の一〇パーセントですが、次のような免税点以下の場合には課税されませんので、公給領収証は発行されないこともあります。また、この免税点は、五十八年一月一日以降変わります。

▽現行の免税点△

旅　館　一人一泊の料金が四千円以下
飲　食　店　一人一回の料金が二千円以下
仕出し出前　一人分が二千円以下

▽五十八年一月一日以降の免税点△

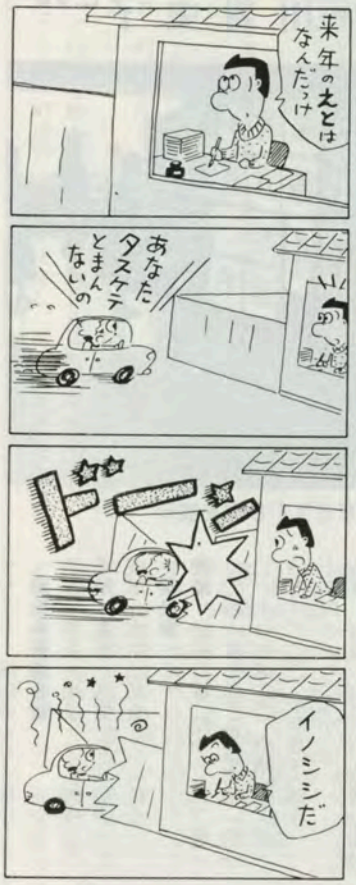
旅　館　一人一泊の料金が五千円以下
飲　食　店　一人一回の料金が二千五百円以下
仕出し出前　一人前が二千五百円以下

※料理店、バー、キャバレー等は、免税点の適用がなく、すべて公給領収証を発行することになっています。

詳しいことについては、県税事務所、各財務事務所、熊毛支庁県税課、大島支庁財務課、県庁税務課へお問い合わせください。

さわやか君

西村　宗



うぶ声

十月二十一日から十一月二十日まで受付分

出生児	保護者	自治会
梅木かすみ	孝二	竹下
井上　歩	雅博	西ノ原
梅木　芳宏	和人	岩原西
竹下　由香	博文	西江口団地
渡邊　治	学	楠園
市薗　弥佳	義一	内原田
今古川宏幸	郁夫	春日団地
永元　千春	光弘	楠園
山本　恭子	洋治	新開
外村友里枝	鐵哉	布越
岩澤　聡子	隆志	口ノ町
木村　友貴	伸一郎	札立
亀井　裕司	辰男	江口団地
石原　朋大	格司	垂ノ口
上別府辰徳	康徳	蔵王団地
原口　梨沙	正則	札立
福崎　義幸	義昭	里ノ下
〃　義和	〃	〃
淵之上大貴	吉和	蔵王団地
鶴　育美	正弘	萩原
中里　資子	興文	豊町
東馬場　潮	弘	今町
宮路　寿志	淳一	須崎
川床　高志	孝一	春日団地
武　奈麻美	和英	楠園
西村　優子	正義	空港団地
新　達朗	光秋	垂ノ口
小野田友子	健一	西江口団地
安楽　麻未	兼敬	上浜
山口　智子	敬	札立
内村　有紀	孝志	春日団地

御寄付

香典返しの代わりに、ご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げますと共に、故人のご冥福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

十万円　海老原純也　勝也　西諏訪

中塩入　下猶　明子（父奥村義一92）

三万円　岩原西　木下　喜則（父喜吉89）

一万円　永原　郡山　容子（夫　進47）

二万円　内原田　遠矢不三江（夫虎雄70）

十一月二十日までのご寄付を掲載いたしました。ありがとうございました。

記事訂正とおわび

十一月号の二ページ、乳幼児医療費条例の一部改正の記事に誤りがありました。深くおわびして、次のとおり訂正します。

○改正日「十月一日」を「十一月一日」に